

MAIL MAGAZINE

メールマガジン

新年の「福」と「213原石」が到着！

JSC 貿易部ニュース

いつも「貿易部ニュース」をご覧いただきありがとうございます。

今月は、春節前後に中国に行かれたことのある方なら、ご覧になったとことがあるという方も多いのではないのでしょうか。「逆さまになっている福のマーク」のお話から。



春節を迎える中国では、この時期、家庭や街が賑やかな雰囲気に入れられ、玄関や部屋の壁、外カベなどにも「福」の字が描かれた真新しいシールや装飾品が目立つようになります。

中国では、新しい年を迎えるにあたり、家庭や職場に「幸福や繁栄が訪れますように」という願いを込めて、この「福」の字を飾り付けます。

でも、なぜ「福」の字を逆さまにして飾るのでしょうか？

ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、逆さまにした「福」の字には、庶民の間で広まったユーモアと言いますか、言葉遊びが絡んでいます。

中国語で「福が逆さに倒れる」ことを「福倒了（フー・ダオ・ラ）」と言います。

同じく、「福が来る」という言葉も「福到了（フー・ダオ・ラ）」と発音します。

「福」の字を逆さまにひっくり返すと、同じ発音の「福がやってくる」という言葉になることに掛けて広まった“漢字遊び”が由来なのだとか。

「福」の到来を願う、この「逆さ福」の言葉遊びは、新しい一年に幸せが訪れることを期待する楽しい中国の伝統として深く根付いているようです。

ちなみに、逆さまになっていない「福」も街のあちこちで見ることができます。

下の写真は、日本向けの墓石工場が集積する崇武地区のレストランのドアに貼られていた「福」です。



レストランで使用しているお皿にも「福」の文字がありました^^

墓石工場の事務所内にも「福」の書があります。

これだけあちこちに「福」があると本当に「福」が押し寄せて来そうです(笑)

2024年、皆様にとっても「福」の多い一年でありますようお祈り申し上げます。

さて、今月の石のお話です。

定番石種ながら採掘が停止していた「AG213」ですが、昨年採掘が再開しました。12月には400才ほどの原石が福建省に到着しておりましたが、それらは錆やキズが多く、日本向けの材料としては使いモノにならなかったため、どの工場も購入を見送りました。

しかし、年が明けて1月に入荷した原石1,000才ほどは品質も良く、早速当社の取引工場2軒に購入してもらいました。一応、スポットではなく、今後も継続入荷の予定です。



当社の社員に入荷した原石の品質確認をしてもらったところ、石目は以前の「213」とほぼ同じとのこと。中にはやや目の細かい石も入っているようですが、大差はないようです。長さは最長で7尺程度、4尺角の大盤が取れる原石もあります。





この「AG213」、当社では早速ご注文品を生産。
現地社員が検品致しました。

完成品に関しても、「石目も以前と同じで、色も綺麗でしたよ」との報告を受けております。

採掘が再開したばかりで錆を含んだ上層の石も混ざることがあるようなので、生産時だけでなく、念のために原石入荷時のチェックも必要です。当然ながら完成後の検品もしっかり行いますので、余裕を持った納期でご注文をいただくと幸いです。

気になる受注状況ですが、現在はまだまだ余裕があります。しかし、まだ原石の入荷量は多くはないので、今後ドンドン注文が増えてくると需給が逆転する可能性もあります。ご注文の際は、事前の納期確認を弊社営業員にお申し付けいただくと万全かと存じます。

素材品質も良好！工場の自主検品と自社スタッフによる二重検品で完成品質もガッチリ！安心の受注体制でお待ちしておりますので、湖南省産「213」の引き合いがございましたら、是非、日本石材センターにご用命くださいませ。

それでは、今月も最後までお読みいただきありがとうございました。

寒い日が続きますがどうかご自愛くださいませ。

2024/02/01